全員協議会を開催

複合庁舎の優先交渉権者が決まりました

今回の議論のポイント

複合庁舎建設事業について、「公募型プロポーザル方式」により決定した事業者から技術提案書の提出を受け、業務全般、品質・工程・地域貢献など複数の観点から選定委員会で評価が行われました。

今号では、その内容と議員の質疑について一部ご紹介します。



令和８年５月 25 日：事業者公募開始
７月 24 日：公募締切（１社申請）
７月 28 日：選定委員会開催
８月　５日：優先交渉権者決定
８月　７日：仮契約締結

1 評価のポイント

評価項目	評価の視点
事業実施体制	具体的な実施体制及び基本設計説明書についての理解
品質・コスト・工程・リスク管理	具体的な管理体制、発注者の要求品質に対する方策及びコストアップ等に対する協議手法
地域経済への貢献	地域経済や町内事業者への配慮
町民にとって利便性の高い庁舎	基本設計説明書についての理解
機能性と経済性	
防災拠点としての役割	
環境に配慮した庁舎	
施工計画	工期の遵守、仮設計画、施工計画について
施工中の対策	安全対策、騒音対策、利便性の確保など

2 提案価格審査

評価項目	上限提案価格	提案価格見積額
提案価格見積書に記載された金額	3, 980, 780, 000 円	3, 969, 430, 000 円

3 事業者

優先交渉権者名：竹中・荒井共同企業体
代表者：株式会社竹中工務店北海道支店
構成員：荒井建設株式会社

4 履行期間

実施設計　契約締結日～令和９年４月 30 日
工事監理・施工～
　令和９年５月１日～令和 10 年７月 31 日

Q & A

議員の質疑をご紹介します！

Q…議員からの質疑
A…担当からの回答

Q **選定委員として選任されている外部委員２名の専門性は、品質・コスト・機能性・施工計画などの評価項目に合致していますか。**

A 外部委員２名は、それぞれの専門分野において評価項目に合致した適切な人選であり、専門的な審査体制を構築しています。

Q **地域貢献に関して、現時点でどの程度具体的な地域貢献策が期待できますか。また、実際に地元企業がその業務を担っていけるのか不安がありますが、どのようにお考えですか。**

A 提案事業者からは、予算との合致状況を精査した上で提示するとの回答があり、実際の事業化にあたっては、参画する地元企業の業務対応能力を調査した上でパートナーとして選定していく方針が示されました。

Q **工期短縮による費用の縮小も大切ですが、地域貢献を優先すべきではないでしょうか。**

A 評価の配点では、地域経済への貢献が最も高く、同様に工程・品質も最高得点で配点しているため、両方を重視しています。

Q **地元企業への技術継承は実際に叶うのでしょうか。**

A 建物完成後の各設備メンテナンスについて、長期間にわたり地元の企業に担っていただきたいと考えています。提案事業者からは、地元の企業を活用し、将来にわたってメンテナンスを行えるよう着実に技術継承を進めていきたいとの回答がありました。

Q **建設事業の進捗状況について、段階ごとに議会に報告するなど、チェック体制をどのように考えていますか。**

A 定期的に広報紙を通じて情報発信を行うとともに、必要に応じて全員協議会等を開催し、実施設計完了後から工事へ移行する判断の際にも、ご意見を伺う機会を設けたいと思います。

